

■ 応援全開、熱戦展開中学生バレーボール選抜優勝大会



3月26日から28日までの3日間にわたり、北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会が市総合体育館などを会場に開催されました。

これは、北海道バレーボール協会が、中学校バレーボールの強化・育成を目的に主催しているもので、道内各地から、男子17チーム、女子25

チームが参加しました。

コロナ禍で中止や制限のあった昨年までの大会から、今回で33回目の開催となる今年は、制限がなくなり元通りの大会になりました。

各コートでは熱戦が展開され、選手の保護者なども多数駆けつけ、熱い応援が繰り広げられました。

■ 「こころの健康について」の講演会を開催

市は3月26日、「メンタルヘルス対策講演会」を総合福祉センターで開催しました。

同講演は、中野記念病院の紺野雅人理事長を講師に、「～こころの健康について～地域の精神科医からのメッセージ」と題して行いました。

「心の不調は誰にでも起こりうる

ことで、自殺に関わる精神疾患が発症することは自分とは無関係ではない」と呼びかけました。また、精神科の受診相談から受診までのポイントや治療の現状についても説明し、「市民が周囲の人の変化に気づくことが、市民全体のメンタルヘルスの向上に寄与する」と訴えました。



■ 芦別市社会福祉協議会と芦別青年会議所が防災協定を締結



芦別市社会福祉協議会（竹原司会長）と芦別青年会議所（高瀬諒理事長）は4月4日、総合福祉センターで災害時等における協力体制に関する協定の締結式を開催し、協定書を交わしました。

協定は、自然災害などにより開設した市社協の災害ボランティアセン

ターの要請に応じて、青年会議所が人員や情報、支援物資の供給を行うという内容で、その他にも平常時からの連携強化などを行います。

竹原会長は「市民の安心安全な町を作るために協力したい」、高瀬理事長は「力を合わせて芦別の防災に寄与したい」と話していました。

■ 統合後初の入学式。芦別中学校に新入生53人が入学

4月5日、今年度より啓成中学校と統合された芦別中学校で入学式が行われ、53人の新入生が新たな一歩を踏み出しました。

入学式では、新入生や保護者を対象とした希望調査により新しいデザインに統一された制服に身を包んだ新入生を在校生が拍手で迎え入れ、

丹那暢仁校長が「あいさつ、相手の気持ちへの想像力、夢を目標に変える力を養ってほしい」と式辞を述べました。

新入生を代表して長希佳^{ののか}さんは「大きな希望を胸に、何事にも全力で取り組みます」と誓いの言葉を述べていました＝写真＝。

